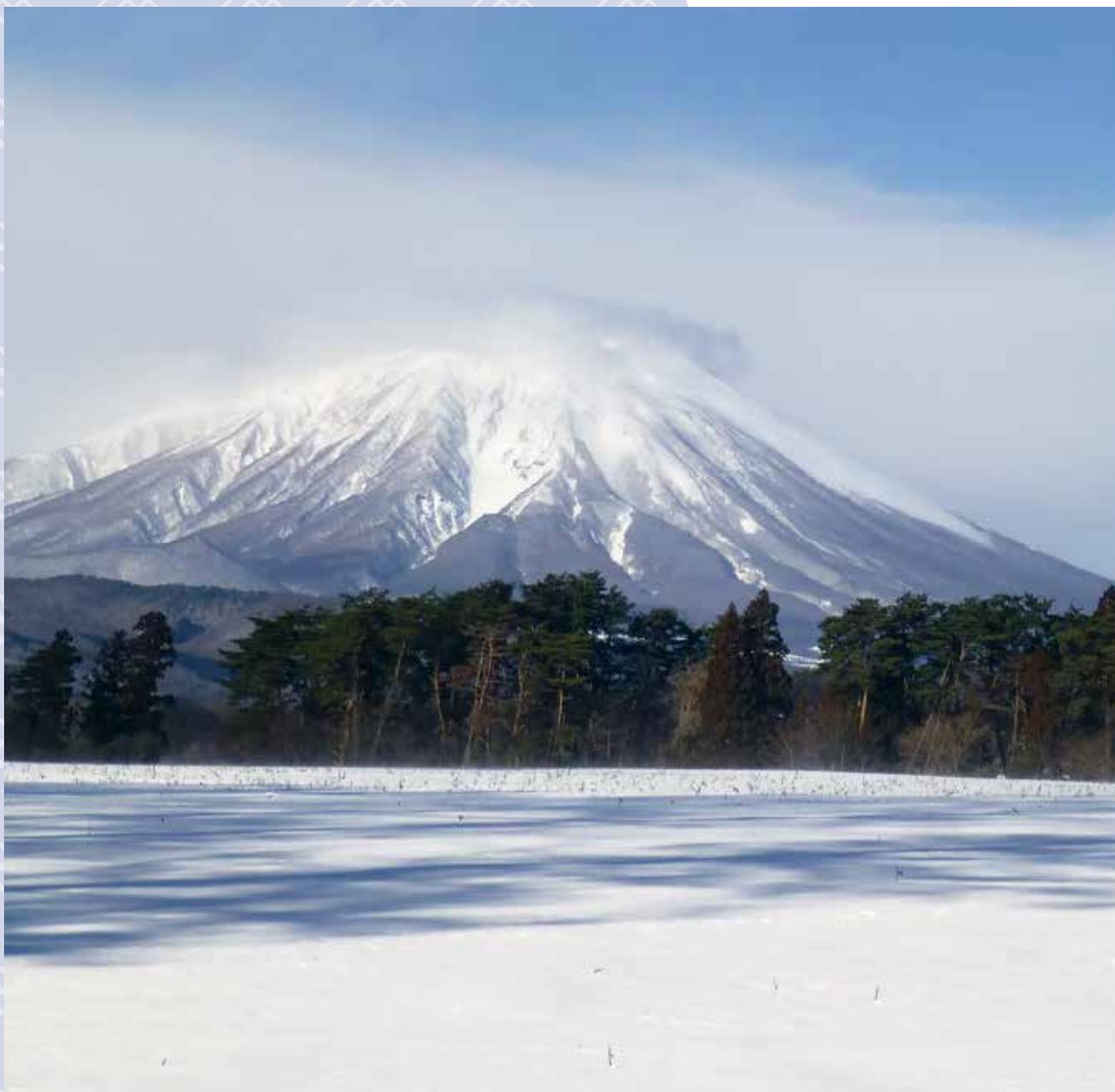


# いわての看護

いわての  
**ナースセンター** 75号  
だより



岩手牧場からの岩手山

令和3年度  
岩手県看護協会会員数の動向

保	助	看	准看	計
327人	344人	6,865人	149人	7,685人

令和3年度 災害支援ナース登録者  
97人

令和4年1月12日現在



## 年頭のごあいさつ



公益社団法人岩手県看護協会  
会長 及川 史智子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃から本協会の事業に温かいご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年は、看護職が一丸となって新型コロナウイルス感染症と対峙し、まさに、看護の力で健康な社会の実現に向けて歩んだ1年でした。それぞれの場で長期にわたり、献身的にご対応いただいておりますことに心より敬意を表します。

本協会では、現場でご尽力いただいている看護職に心からのエールを送りながら、感染防止対策に係る研修をはじめ看護職員の確保、復職支援、岩手県委託の「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等派遣支援事業」、日本看護協会と連携し、新型コロナウイルス感染症対応における県外看護職員応援派遣調整等に取り組んでいます。

また、今年度の岩手県看護協会通常総会は、参加者を制限し規模を縮小して開催しましたが、教育研修を始め計画した事業につきましては、皆様のご協力をいただきオンライン形式を導入しながら概ね実施しております。

地域別懇談会は、新型コロナウイルス感染者が減少の時期であったことから、2年ぶりに開催することが

できました。地域での看看連携の好事例等について情報提供をいただき、さらに今回は、支部役員・委員と懇談を行い連携を深める有意義な機会となりました。

近年、全国的に大規模災害が増加しており、災害時支援活動の体制および機能強化が一層必要となってきました。安全を担保した看護職の派遣に向けて、関係機関等との連携や災害支援ナースの登録促進を進めています。

皆様のご協力をいただき会員数は直近で7,690名となり、当面の目標7,600名を達成することができ、会員の輪がさらに広がりました。今後も、職能団体の活動を周知するとともに本協会事業の充実を図り、会員増に取り組んでまいります。

令和4年度は、2040年を見据えた看護の課題を展望しながら、看護職が人々の健康支援に役割を發揮できるよう、暮らしの場における看護機能の強化、看護の専門性発揮に向けてタスクシフト/シェアを含めた業務の効率化、看護職の就業促進、労働環境の整備などを推進していきたいと考えております。本年もより一層のご支援をよろしく願いいたします。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

## 岩手県保健医療功労者表彰を受賞して

岩手医科大学附属病院 小館 千公



この度は、岩手県看護協会の推薦で、岩手県保健医療功労者表彰を頂くことができました。受賞に際してご尽力いただいた及川会長はじめ協会の皆様に御礼申し上げますとともに、ご支援、ご指導賜りました所属の上司や先輩諸氏、同輩や部署スタッフの皆様のお陰と思い、心から感謝申し上げます。

看護協会との出会いは、入職6年目に小野看護師長の「視野を広げて多くの人たちと活動してみたら」の一言から始まりました。看護のみならず行政や福祉、教育の方々と活動することで見聞を広げ、多くの事を学びました。初のアドバンス助産師の誕生、県内55名を達成できた時は、岩手の助産師たちの希望と期待に身が引き締まる思いでした。

これからも表彰の栄誉に恥じぬよう、多くの人たちとの絆を大切にしながら、地域が求めるシームレスな助産活動に邁進していきたいと思っております。

最後に会員の皆様のご健康とご活躍、岩手県看護協会の更なる発展を心から祈念し、御礼といたします。誠にありがとうございました。

## 令和3年度岩手県看護研究学会 開催報告

10月30日(土)「地域でつなぐ看護の可能性～ダイアログの実践を通して～」をメインテーマに、令和3年度岩手県看護研究学会が開催されました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を鑑み、初のWEB開催となりました。WEB開催についてのアンケート結果では、大変満足43.7%、概ね満足51.9%で「会場に行くことが難しい場合でも参加しやすい」「移動時間がなく受講することができた」「感染対策となって良かった」などの意見が多くありました。

本学会には324名の参加があり、演題は口演10題、示説10題の計20題の発表がありました。口演はライブ配信、示説は誌上発表で行われました。研究内容は災害看護研修、新型コロナウイルス感染症に関する実践報告、術後ケア、カンファレンスに関する取り組み、褥瘡対策等、幅広く、日々の看護実践を振り返り、今後の看護活動に活かす良い機会となりました。

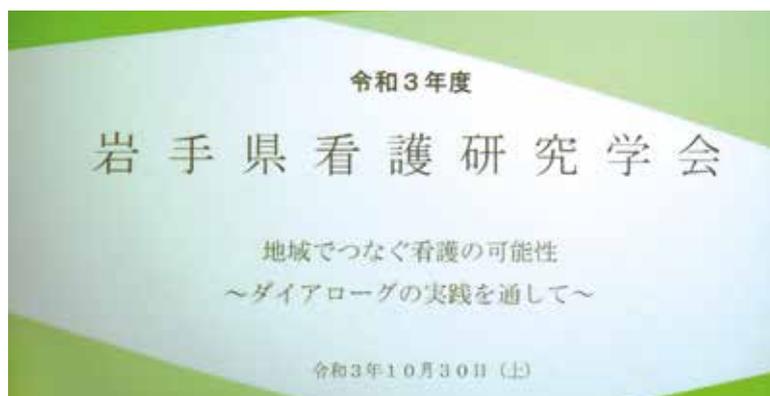
特別講演では、筑波大学医学医療系社会精神保健学教授の齋藤環氏に「ケアとしての対話実践」と題してご講演をいただきました。統合失調症の急性期ケアの手法である「オープンダイアログ」は、診断や

アセスメントに重きを置かない疾患非特異的な「ケア」が特徴で、治療目標を設定せずケアの「プロセス」を重視することをわかりやすく教えていただきました。結果を重視しがちな看護職にとっては、まさに目から鱗が落ちた気持ちになり、人は何のために対話するのかという根本的なところから考えさせられました。

看護研究支援講座"30分でサクサクわかる「テーマの選び方」では、学会委員の岩手県立大学看護学部 佐藤史教先生に、研究テーマの決定には、常に看護ケアについての疑問を考え、その疑問に関する先行文献を探してみる事が重要であることを教えていただきました。個人ワークでは普段の看護ケアの疑問を10個挙げてみましたが、サクサクとはいかず、疑問を見つける視点を磨かなければならないと実感しました。みなさんは10個挙げられますか。

看護職への期待が高まっている今、看護研究によって看護の力を可視化し、研究成果を多くの患者さんや家族の方に還元していくことが看護職の使命のひとつであると実感した看護研究学会でした。

(学会委員長 館林 淑子)



## 岩手県保健福祉部との懇談会を開催して

去る11月4日(木)、岩手県保健福祉部と当協会の懇談会をオンラインで開催しました。

県から保健福祉部長以下14名、当協会は会長以下12名が出席し、以下の4つのテーマについて懇談を行いました。

- (1) 感染管理認定看護師の活用及び人材育成について
- (2) 保健師の役割拡大と保健師の確保について
- (3) 地域包括ケアにおける母子支援について
- (4) 看護職の人材確保について

当協会から、各テーマについての取組状況・課題・今後の方向性や要望等について説明し、保健福祉部より、それぞれについての取組や方針等が述べられ、意見交換を行い、情報共有しました。

野原保健福祉部長から、有意義な懇談であり、地域包括ケアにおける母子支援についてとても勉強になった。感染対策では、小規模病院等の感染対策のレベルアップが課題であり、人材育成含め課題だと感じた。保健師に関しては、県民にも職業理解が深まり、職位の向上も含め検討していきたい。助産師に関

しては、県立釜石病院の問題もあり県民の関心が高い。産後ケア事業は県として推進する覚悟なので、看護協会にも協力いただきたい。看護職確保では、コロナ禍で業務にあたる看護職の姿を目にした若者が増えていることから、看護職志望者の県内定着に向けて連携し取り組んでいきたい、との感想をいただきました。

及川会長からは、懇談会に対する謝辞と共に、看護協会の目的は県民の健康の実現であるため、今後も連携しながら取り組んでいくことをお伝えし、閉会となりました。

(専務理事 高橋 弥栄子)



## 令和3年度 支部の活動状況

### 盛岡

盛岡支部長 藤根 美知子

盛岡支部では、5月にCOVID-19感染予防対策を実施しながら本部と合同で「看護の日」のイベントを開催しました。9月の西條ユキコ氏による「実生活に活かせるコミュニケーション」の研修会と10月の岸英光氏による「甲斐のある人生を生きるために」の研修会、組織強化の取組みとして計画した施設訪問と看護職交流会は盛岡支部管内のCOVID-19感染拡大のため中止しました。12月には高齢者施設で働く看護職員及び職員を対象とした「高齢者施設への出前研修」を開催しました。今年度は葛巻町地域包括ケア研修会として、「基本的な感染対策」をテーマに国立盛岡医療センター感染管理認定看護師の大谷直美先生を講師に企画しました。研修会ではPPEの着脱や手指消毒の体験もあり、町内の施設で勤務する看護職と介護職で感染対策を共有する貴重な機会となりました。今後も看護協会の役割を地域に発信し、会員の皆様の要望にお応えできるように事業を企画したいと思います。

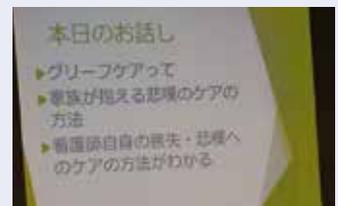


### 花巻

花巻支部長 畑村浩一

6月にリフレッシュ研修として総合花巻病院の緩和ケア認定看護師の浅沼有香氏に「グリーフケア」についてご講義いただきました。コロナ禍ということもあり参加人数は少なかったものの、研修終了後に質問される方もおり、有意義な研修になりました。「看護の日」のイベントなどは新型コロナウイルスの影響で昨年度に続き開催できませんでした。また、9月開催予定の「ハラスメント研修」および令和4年1月の花巻地区「高齢者施設への出前研修」もコロナ感染拡大により、両方ともやむなく中止いたしました。支部の皆様には大変申し訳なく思っております。

今後はコロナ禍での開催も視野に入れ、オンライン等を活用し看護職等の資質向上と交流を深められるよう、役員・委員と協力しながら看護協会の役割発信に取り組んでいきたいと思っております。



## 北上

北上支部長 高橋 美枝子

昨年度は、新型コロナウイルスの影響でほとんどの事業が中止となり、とてもつらい1年でした。そのため今年度は、計画した事業が遂行できるよう検討し、10月は「心のケア研修会」、11月には「認知症看護のアセスメント」の研修会をWEBと会場で開催し、参加者は40名程でした。即実践できる講義内容で、大変有意義な研修会となりました。また、役員会ではお互いの施設について情報交換を行い、活発な意見交換が行われています。今後残された事業は、高齢者施設で働く職員への出前研修となりますが、昨今、多様な施設があるため、北上支部でできる活動は何かを調査し、今必要とされていることについて話題提供したいと思います。

北上支部において、看護協会について地域住民の皆様にご認識していただけるよう努力し、必要とされる場所になれるよう、近い存在でありたいと考えております。



## 奥州

奥州支部長 菅原 宏則

今年度は一昨年からの新型コロナウイルスの流行による行動制限により対面形式の集合研修が実現できない状況でした。このようなときに水沢中央ライオンズクラブ様から、厳しい感染症対応と通常診察に携わる病院、施設の看護職員へとバナナケーキを頂戴いたしました。大変ありがたく、また、とても励みになるお言葉をいただき、感謝しております。

現在、国内及び岩手県内の感染状況も落ちついていく状況にあり、令和3年度の研修会『フットケアの基礎知識』を奥州市国民健康保険まごころ病院 看護師長兼医療連携室副主幹／一般社団法人生きがいくり研究所 フットケアワーカー 井上ヒトミ氏を講師にお招きし、11月26日に開催しました。感染症対策として参加者を収容人数の半分に制限し36名が参加しました。講義はフットケアに関する基本的考え方や実際、現場でフットケアを行う時の注意点、フットケアを行う前とケア後のスライドを拝見いたしました。また、井上先生がケアにあたる際、実際に使用している器具備品を見せていただき、講義終了後には参加者が演台の前に集まり、器具の説明や使用方法について話をしていました。研修会参加者はフットケアの重要性やケアの実際までの過程に興味深く質問や意見を交わしており、とても良い研修会となりました。

今後も感染拡大が懸念されますが、平時の活動とは違う形で取組んでまいります。



## 一関

一関支部長 船山 陽子

一関支部ではCOVID-19感染防止対策を行いながら、7月には、包括支援センターさくらまちの認知症地域支援推進員の高橋千絵氏を講師にお迎えし、「地域における認知症支援について」研修を行いました。参加者は会員・非会員合わせて26名でした。地域での様々な支援の活動が紹介され、情報共有と連携の大切さを実感しました。

11月27日には、「一人十色の死生観」ACPをテーマに太田宣承住職の研修会を開催しました。参加者は会員・非会員合わせて63名でした。専門職の思い込みをはずしてよき理解者になり思いに寄り添うことが大事であることを再認識しました。

また、今年度は、「褥瘡予防」について皮膚・排泄ケア認定看護師の千葉良子氏に講師依頼し、高齢者施設への出前研修を企画しています。これからも、人とのつながりを大切に、支部役員一同協力し「今できること」に取り組み、看護の質の向上と組織強化に取り組んでいきます。



## 大船渡

大船渡支部長 高橋 美保

コロナ禍での活動も2年目となり、今年度2回予定しておりました支部研修会は、残念ながら1回の開催となりました。救急看護認定看護師 桑久保洋子氏に「高齢者の体調変化のアセスメント」についてご講義いただき、高齢者の観察の基本を学び、観る、聴く、触れる観察の大切さを再認識しました。また、「グッジョブケン2021」という気仙地域の小学生の中高学年向け職業体験イベントに出展し、聴診器を使ったり、沐浴や包帯巻きなどの体験を通して、看護という仕事、看護の楽しさを伝えました。参加した役員は、小学生との交流から元気をもらったようです。11月には、「高齢者施設への出前研修」として認知症看護認定看護師 志田公紀氏による研修を行いました。

今後は、withコロナの中で感染対策を行いながら、出来る活動、方法を考え、工夫しながら、役員一同力を合わせ支部活動の取り組みを進めてまいります。



## 釜石

釜石支部長 古舘 美佳

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、9月の「アドバンスケアプランニングについて」の研修と、10月の市民向けの看護のイベントの開催を中止しました。10月に入り、県内の新型コロナウイルス感染症患者の減少に伴い10月28日に県立釜石病院の助産師による「看護の出前授業」が県立宮古商工高等学校で参加人数114名を対象に行なわれました。「いのちの大切さについて～大切な生と性～」をテーマに、命はどのようにして生まれてくるのかという生命の神秘や生きる力について、そして成長する心とからだ、性の健康と尊重する関係について講義しました。受講後のアンケートからは「体も心も大人に近づいてきて自分達の行動に責任を持つことが大切だと思った」「助産師や看護師の仕事に興味を持ち、今後の進路決定の参考にしたい」等の感想が聞かれ、有意義な内容となりました。

12月9日には県立大船渡病院の認知症看護認定看護師 志田公紀氏を講師にお迎えし、「認知症患者に寄り添う看護」をテーマに研修会を実施し、55名が参加しました。



## 宮古

宮古支部長 五十嵐 由香利

今年度の宮古支部では、7月10日にアンガーマネジメント研修「怒りと上手につき合う」を、精神科認定看護師 小成祐介氏を講師に会員24名・非会員4名の参加のもと開催しました。感情コントロールのスキルやアンガーマネジメントの実践テクニック等の事例を交えながら学び、「現場だけでなく私生活でも活用できる」「実践していきたい」などの感想をいただきました。また、10月16日には「フットケアの基礎知識～職場で活かせる正しい爪の切り方を学びませんか～」をテーマにフットケアワーカー 後藤厚子氏より爪の構造から病気についてご講義いただき、改めて爪のケアが体の健康にもつながることを学びました。参加者は会員16名・非会員6名でした。

コロナ禍で中止した活動もありましたが、今後も地域で困っている看護職の皆様の声を聴きながら有意義な研修であったと満足いただけるよう活動していきたいと思います。



## 久慈

久慈支部長 日當 守子

令和3年度、久慈支部では会員数190名、入会率27%、会員施設12施設でスタートしました。年度当初は、昨年からの新型コロナウイルス対応に追われ慌ただしい日々を過ごしていました。「今年度こそ」2年越しの研修計画を実施できるように願っておりましたが、8～9月クラスター発生により開催が延期となり、去る10月21日(木)認知症看護認定看護師 山田知弘氏をお迎えし、「認知症の患者・家族の接し方」の研修会を無事に開催する事ができました。49名の参加者からは「認知症患者の対応は日々難しさを感じているため、とても関心を持って聞く事が出来た」「患者・家族の気持ちにより添って関わりたい」と好評でした。

今年度は支部役員のごほとんどが支部運営初心者のため、資料と岩手県看護協会本部役員の皆様のご支援のもと、計画通り実施できるようチームワークで頑張りたいと思います。久慈支部では会員以外の皆様にもお知らせし、活動しておりますので、気軽にお声がけください。よろしく申し上げます。



## 二戸

二戸支部長 坂野上裕子

今年度は、昨年度コロナ禍でやむを得ず中止となった研修会を7月に開催できました。メンタルヘルスケア事務所代表の今松明子氏をオンラインで迎え、「アンガーマネジメント～怒りの感情をコントロールするには～」と題してご講義いただきました。12月の研修会はWEB参加も可能とし、糖尿病看護認定看護師の君成田大氏より活動実践報告、産業カウンセラーの坂本玲子氏より「ブレインジムで脳も身体もリフレッシュ」をテーマにお話をいただきました。いずれも心身ともにリフレッシュできた参加者から好評でした。役員はWEB操作に緊張しましたが、何とか終了し安堵しています。

地域別懇談会は、11月13日に二戸地区合同庁舎において開催されました。閉会後の支部役員・委員との懇談会では、会員加入にむけた活動について意見交換を行いました。今後、看護協会活動を情報提供する機会をつくり、加入とともに地域の連携強化に繋がっていかれると思います。



## 令和3年度 職能委員会活動報告

### CLoCMiP レベルⅢ認証推進研修会 —“アドバンス助産師”を語ろう—

開催日時：令和3年9月11日(土) 13:00～16:00

助産師が活躍する場は病院・助産院・地域など様々あり、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援が求められています。助産師に期待される役割は多様化しており、ハイリスク妊産婦やハイリスク新生児にも対応できる高い助産実践能力が求められています。

今回、県内のアドバンス助産師やアドバンス助産師に関心のある看護職を対象に、会場とZoomによる併催で研修会を開催し、14名（助産師13名、看護師1名）の参加がありました。

はじめに、日本看護協会常任理事の井本寛子氏より「アドバンス助産師に期待すること」をテーマにZoomでご講演いただきました。妊産婦を取り巻く状況や、産科医不足による産科病棟閉鎖、混合病棟化など、周産期医療体制の変化の中で期待される助産師の役割について学ぶことができました。

後半は、岩手県立釜石病院の木村裕美氏、みうら産婦人科医院の八重樫由紀氏、岩手医科大学看護学部の高橋淳美氏の3名のアドバンス助産師から病院・診療所・教育施設での活動について話題提供をいただきました。その後、「アドバンス助産師として私たちができること」をテーマにグループワークを行い、各施設での活動状況や現状について情報を共有することができました。

研修後のアンケート結果からは、今後の取り組みについて考える機会になった、それぞれの地域や病院、対象者に応じて専門的な支援ができるように世の中の動向や国の方針に目を向けていきたいなどの感想が聞かれ有意義な研修会となりました。

(助産師職能委員 種子 はるみ)



### いいお産の日 in いわて 2021 オンラインイベント

開催日時：令和3年11月3日(水・祝) 13:30～15:00

11月3日は語呂合わせで「いいお産(1103)」。この日は全国各地で妊娠・出産・子育てに関連したイベントが多数開催されます。岩手県では今年も岩手県看護協会、岩手県助産師会が協力し、初めてのオンラインイベントを開催しました。

第1部では「あなたのそばに助産師がいること」を知っていただく機会となるよう「助産師の紹介」を行いました。妊娠期から子育て期における活動の実際、そして思春期や更年期など女性の生涯にわたる健康支援にも携わっていることについてお伝えしました。第2部はマタニティ相談室「くろさわ」室長の黒澤真澄氏による「親と子の関わり方—子育てのヒント—」と題する講話でした。乳幼児期こそ「甘える」体験が重要であること、子どもの自己肯定感を育む関わり方についてお話いただきました。第3部は岩手医科大学助産学生による紙芝居「生まれてきてくれてありがとう」の朗読でした。きょうだい(弟)が生まれるお姉ちゃんの揺れ動く気持ちとそれを温かく受け止めるお母さんの様子が描かれた心温まるお話でした。

イベント後のアンケート結果からは「一人で悩まなくていいと改めて思えた」「夫婦で共有してこれからは活かしていきたい」「紙芝居、心がこもっていて感動した」などの感想が多数あり、有意義な機会となったことが伺えました。今後も助産師の専門性を発揮し、地域全体で子育て世代を温かく見守り、支えることができるよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の実現につなげる活動を行っていききたいと思います。



(助産師職能委員長 蛸崎 奈津子)

## 令和3年度 職能委員会活動報告

### 看護師長交流会

師長もチームも元気になるファシリテーション  
～師長が語ろう・聴こう・元気になろう～

開催日時：令和3年11月2日(火) 9:30～16:00  
オンライン開催

講師：ひとづくり工房 esuco(ゑすこ)

代表/看護師ナースファシリテーター 浦山 絵里 氏

看護師長の役割は、近年の変化する医療体制への対応に加え、新型コロナウイルス感染症の対応等でこれまで以上に増大しています。現場を元気にし、生き活きと働き続けられる環境をつくるのが求められている看護師長は、様々なストレスを感じ役割発揮に苦慮していることも多いのではないのでしょうか。

今年度の看護師長交流会は「ファシリテーション」をテーマにしました。ファシリテーションは、コミュニケーションを良くすることで人と人との関係の質を高める技法とされています。看護師長がファシリテーションを経験することは、お互いに支えあえるチーム形成につながると考え、看護師長の明日への元気につながる交流会にすることを目標に開催しました。講師の浦山先生には、岩手の「看護を元気にする仲間たち」とネーミングをいただき、聴くこと、語ることを大切にされた交流会となりました。

当日は、委員を含め17名の参加がありました。参加者からは「ファシリテーションを経験し、明日からでも活かせることを見つけた」「ゆったりした時間のなかで、話すこと、聴くことができ気分転換になった」「看護師長の思いを共有でき元気が出た」等の感想をいただきました。

今後も、会員の皆様からの様々なご意見を伺い、事業に反映させてまいります。引き続きご支援くださいますようよろしくお願いいたします。

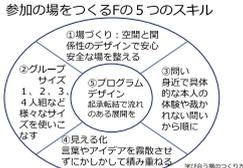
(看護師職能委員長Ⅰ 田村 ヤス子)

**ファシリテーション**

“facilitate”=「促進する、<事>を容易にする」  
場の**主役は参加者**

参加の場を作り、対話を促進することで  
思考が深化し、**気づき**が生まれる**プロセス**を作ること。

交流会資料の一部です。場づくりのためのチェックイン・アイスブレイクは、参加者の緊張を解き、対等な関係をつくり、皆が語りやすい雰囲気づくりにつながることを感じました。



参加の場をつくるFの5つのスキル

### 介護施設等で働く看護職の集い

開催日時：令和3年11月6日(土) 13:30～16:00

看護師職能委員会Ⅱでは、施設や介護の現場での「新型コロナウイルス感染防止対策」の経験からの学び、現状、今後の課題を共有しケアに活かす機会とすることを目的に、2つの内容を盛り込んで、「介護施設等で働く看護職の集い」を開催しました。今年度は感染対策を考慮し、web会議システムZoomを利用した開催とし、17名が参加しました。

1つ目は、株式会社プロスペリティ・ナーシングサービス代表 山口 トキヨ氏を講師にお迎えし、「令和2年度のCOVID-19対応を振り返る～施設で難渋したこと～」をテーマに、通常の生活が激変した状況で、訪問看護ステーションと有料老人ホームの管理者として取り組んだ感染対策や課題を具体的にご教示いただきました。利用者様やご家族に感染対策を伝える工夫、さらに仕事と生活の両方の視点で考えた職員の行動計画は「コロナウイルスを持ち込まない」という強い思いが伝わる内容でした。そのような中で、課題として挙げられたのは、事業継続を目的とした他施設との連携の在り方でした。

参加者との意見交換では、自施設での取り組み、他施設との情報共有や支援体制の工夫が語られ、対応力を向上するためにそれぞれの施設で工夫して取り組んでいる内容がわかりました。

2つ目は医療・看護安全対策委員会から、「経腸栄養ラインと輸液ラインが物理的に接続できない誤接続防止コネクタ」について、DVDを用いて情報提供していただきました。参加者からは、「訪問看護ステーションや各施設の状況、新しい情報を知ることができた」「感染状況が落ち着いてもWeb研修は継続してほしい」「Web研修は不慣れで戸惑いがあった」等の感想を寄せていただき、有意義な集いとなりました。

新型コロナウイルスの感染拡大は、医療現場はもとより社会全体に大きな影響を与えています。当職能委員会では、地域で生活する利用者様やご家族を支える看護職が役割を發揮し、働き続けることができるよう、今後も皆様のご意見をいただき、多くの情報を発信していきたいと思えます。



(看護師職能委員長Ⅱ 井上 和子)

## 特定行為看護師の紹介

### —特定行為「呼吸器関連コース」修了— チーム医療の円滑化を目指して！

岩手医科大学附属病院  
救命救急ハイケアユニット (EHCU)  
佐々木 美里



私は、2020年に当院の高度看護研修センターで特定行為教育課程呼吸器関連コースを受講しました。特定行為研修前は、人工呼吸器の離脱に向けた訓練が可能な状態であっても医師の指示を待たなくてはならず、患者の状態に合わせたタイムリーな治療が行われていないことにジレンマを感じるがありました。そのようなときに、医師の指示を待つだけではなく、自ら臨床推論を用いて、人工呼吸器からの離脱訓練が可能かどうか判断し、人工呼吸器から離脱し、患者のQOLの向上を図ることができるように活動していきたいと思っています。

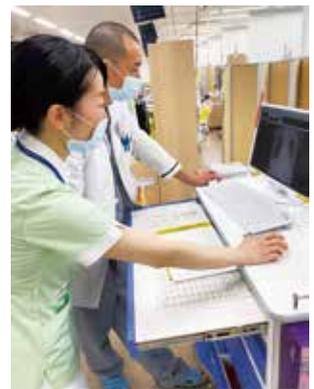
私が勤務している高度救命救急センターでは、多発外傷や熱傷、急性中毒など特殊な病態の患者が入院しています。そのような患者が急性期の集中的な治療を脱した後に、早期に在宅につなぐために、日々の実践の中で患者の呼吸状態をアセスメントし、離脱に向けた人工呼吸器の設定の変更ができるかどうかをフィジカルアセスメントと検査データから臨床推論を駆使して実践しています。検査データ上では設定変更が可能であっても、患者の病態を総合的に判断し

た上で変更していかなければならないことの困難さを感じています。その困難と思うことを、医師の回診時に一緒にラウンドしてカンファレンスで情報共有し、臨床推論能力を高めることに励んでいる最中です。気管カニューレ交換の実践では、急性期の呼吸状態の不安定な患者に対して、自分が実践可能なのか否かを判断する能力も身につきました。気道確保に関わる技術であるため、安全かつ安楽な医療が提供できるように経験を積んでいきたいと思っています。

特定行為を実施していくうえで、医師の思考過程を理解する力を身に付け、患者家族に寄り添い、「治療」と「生活」の両面からの支援を促進し、患者や家族、医師、多職種との架け橋となり、チーム医療を円滑にさせていきたいと考えています。



気管カニューレの交換



医師と情報交換

## 「受療中の人々の重症化予防支援」研修会報告

今年度の重点事業の一つである「健康と療養を支える地域包括ケアの推進」の取り組みとして、盛岡管内のクリニック・診療所で働く看護職を対象に、初企画の研修会を12月1日(水)に開催し、15名の看護職が参加しました。

テーマを「糖尿病重症化予防につなげる、観察・ケアのポイント及び生活指導の実際」として、盛岡市立病院慢性疾患看護専門看護師の柝内優美氏から、糖尿病の基礎知識から療養を支えるポイント、そして地域における連携までご講義いただき、大変有意義な研修会となりました。

参加者からは「患者の視点に立ったケアの重要性が再認識できた」「クリニックだからこそできる介入があると感じた」等の感想が多く、事例を交えながら、とても分かりやすくお話いただきました。

今後も受療中の人々の重症化予防は、看護職にとって重要な取り組みとして位置づけ、当協会事業として引き続き取り組んで参りますので、ご支援の程よろしくお願いたします。

(専務理事 高橋 弥栄子)



# 病院に勤務する看護職の勤務環境の調査結果と課題

社会経済福祉委員会

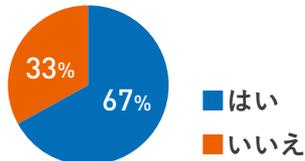
看護職が生涯を通して、安心して働き続けられる環境作りを推進していくために、岩手県内に勤務する看護職の勤務環境について調査しました。今回、調査結果と課題並びに取組事例について、一部を報告します。

<b>調査対象</b>	岩手県内92病院の看護管理者	<b>調査期間</b>	令和3年1月25日～2月19日
<b>調査方法</b>	無記名自記式質問紙法による郵送調査	<b>回収状況</b>	75病院（有効回収率81.5%）
<b>設置主体</b>	医療法人（34） 公的医療機関（32） その他（7） 無回答（2）		
<b>病床数</b>	99以下（26） 100～199（25） 200～299（11） 300～399（8） 400以上（3） 無回答（2）		

## 1. 夜勤・交代勤務、環境について

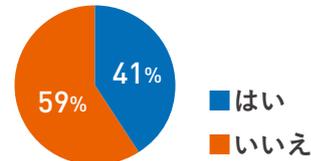
■ 3交代勤務：月8回を超える病院が16病院（N=49）

3交代の夜勤回数（月8回以内）



■ 2交代勤務：月4回を超える病院が23病院（N=39）

2交代の夜勤回数（月4回以内）



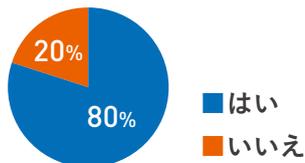
**課題** 勤務間インターバル11時間以上の確保や2交代勤務時の「仮眠時間」や「仮眠できる場所」の整備がされていない実態もありました。職員の突発的な休みなど、人員確保困難により支障をきたすなどの状況も推測されます。「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン（日本看護協会2013年）」「就業継続可能な看護職の働き方の提案（日本看護協会2021年）」を活用し、人事労務管理を重視した職場の環境整備が急務です。

※令和2年6月（1カ月）を調査月として、3交代・2交代で複数回答あり

## 2. 看護職への健康支援について

■ ストレスマネジメントについて取組んでいない病院が15病院

ストレスマネジメントの取り組み状況



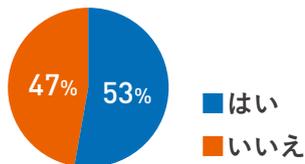
**課題** 看護職は、疲労や睡眠不足など多様な要因により、心身に強いストレスをもたらすことがわかっています。個人のストレスコントロールを組織としても、支援する仕組みを作ることが必要です。

**取組の紹介**

- ・産業カウンセラーを定期的に活用
- ・職場環境満足度を知るため全職員のグループワークを開催

■ 腰痛予防対策（作業環境整備、補助用具使用等）に取り組んでいない病院が35病院

腰痛予防対策の取り組み状況



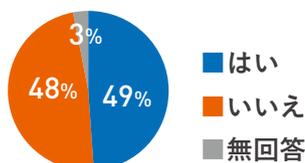
**課題** 看護職の腰痛は、離職理由にも有意に影響している傾向があり、職場における腰痛予防は重要な課題として取り組むことが必要です。

**取組の紹介**

- ・腰痛体操の紹介
- ・パワースーツの導入検討

■ 職員の病休後の復職プログラムを整備していない病院が36病院

病休後の復職プログラムの整備状況



**課題** 復職のプログラム整備について、「いいえ」と回答した病院が多くなっています。

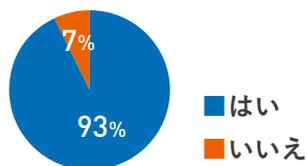
**取組の紹介**

- ・復職者と話し合い、本人の同意を得て、復職前後のプログラムを作成し支援している。

### 3. 准看護師の役割、働き方支援について

■ 准看護師の採用は、70病院で採用（就労）しており、名札名称では様々な表記となっています。

准看護師の採用状況



名札名称	病院数
准看護師	38
看護師	6
看護職員	3
看護部、看護科	17
氏名のみ	2
その他	2
無回答	2

**課題** 免許資格における役割・責任の違いを踏まえ、保健師助産師看護師法に基づいた名称を明示し、安心・安全に役割を果たしていく環境整備が急務です。

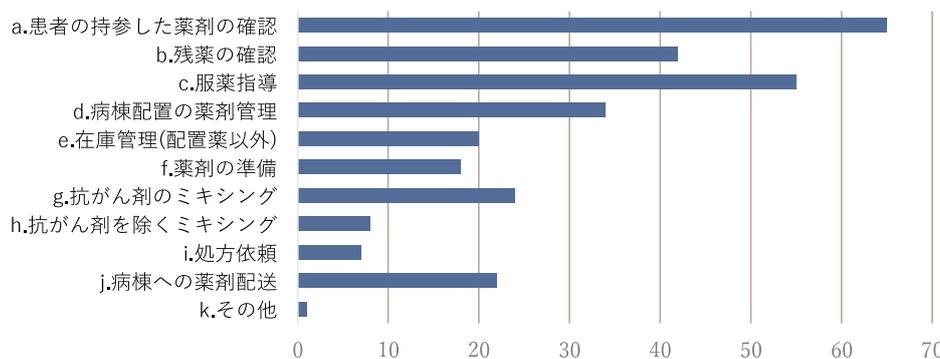
**取組の紹介** ・資格名称を表示していく予定

### 4. タスク・シフト/シェアについて

■〔薬剤師〕〔臨床検査技師〕〔臨床工学技士〕〔理学療法士〕の4職種についての状況です。

職種	タスク・シフト/シェアの有無（病院数）		
薬剤師	有（73）	無（2）	無回答（0）
臨床検査技師	有（31）	無（41）	無回答（3）
臨床工学技士	有（39）	無（22）	無回答（14）
理学療法士	有（62）	無（11）	無回答（2）

■ 4職種の中では、薬剤師へのタスク・シフト/シェアが最も進んでいます。（複数回答）



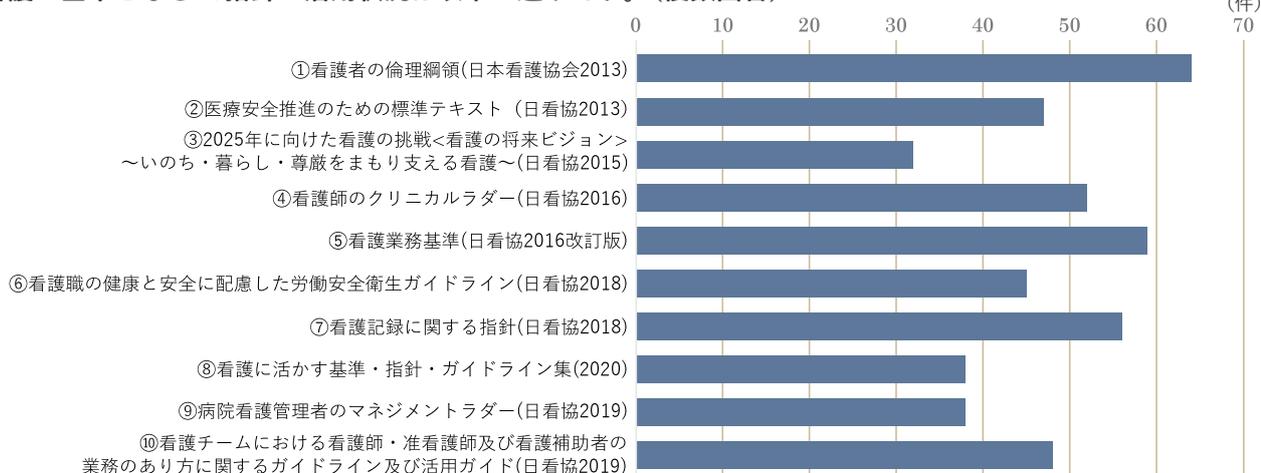
**課題** 医療現場における医師・看護職及び他職種間のタスク・シフト/シェアは、2024年からの「医師の働き方改革」を受け、看護職にとっても喫緊の課題となっており、病院全体での取組が推進されるよう求められています。今後、様々な職種においてタスク・シフト/シェアに係る具体的な情報収集、情報提供などが求められます。

#### 取組の紹介

・病棟薬剤師を配置。各部署での合同ミーティングや転倒転落カンファレンス等に参加し、薬剤師の視点で情報を提供し、共有している。

### 5. 看護に関する各指針について

■看護の基本となる10指針の活用状況は以下の通りです。（複数回答）



#### 課題

看護職の責務を示している「看護業務基準」「看護者の倫理綱領（\*調査時の名称）」「看護の将来ビジョン」は、看護職として特に理解を深めるために、活用の推進が望まれます。随時、更新された情報を日本看護協会ホームページから入手できます。

\* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

今回の調査は、コロナ禍での実施となりましたが、多くの看護管理者の皆様にご回答いただきました。調査結果につきましては、さらに分析を進め、今後の勤務環境の改善、事業に生かしていきたいと考えております。あらためて、大変お忙しい中ご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。

## 令和3年度 役員・委員・会員セミナーを開催して

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、岩手県でも独自の緊急事態宣言が発令されたことを考慮し、急遽、予定していた9月開催を中止し、10月16日(土)に日程変更を行い、WEBでのセミナーを開催しました。当日は、WEB53回線と会場を含め79名の役員・委員・会員の参加がありました。

セミナーは2部構成で、講演Iでは、日本看護協会副会長の秋山智弥氏から「看護職の確保・質向上のための資格管理体制の構築について」ご講演いただきました。

看護職資格の新たな活用基盤の構築の提案として、2040年頃の社会状況の概観を基に、「肩車」から「重量挙げ」の社会とも言われる現役世代が減少となる2040年問題（社会保障、雇用、住宅、まちづくり）に、どう看護職が向き合い、力を発揮していかなければならないかを考えさせられる内容でした。また、「社会保障に係る資格におけるマイナンバー制度利活用に関する検討会」が行われており、2024年新卒看護職者から、マイナンバーカード義務化や住所・氏名に紐づく情報の更新、免許証の手続きの簡略化・迅速化、死亡時の抹消など完全自動化により、国家資格等の管理システムが制度化されていくなど、資格情報の管理に関する国の動向について知ることができました。

講演IIでは、日本看護協会参与で弁護士の友納理緒氏から「看護記録の重要性と記載ポイント」と「実習における個人情報の取り扱い」について、動画上映で講演いただきました。

看護記録は、健康保険法、医療法に規定されている公的な記録です。近年、医療界では法的トラブルが増加しています。看護職も民事の損害や賠償を請求される被告の立場や刑事事件の被疑者・被告人になる可能性があります。時代であるからこそ、自分の身を守るうえで証拠資料となる看護記録が適切に記載されているか否かは極めて重要であること。そして個人情報に関する守秘義務に関しても再認識する良い機会となりました。

(副会長 佐藤 悦子)



## 令和4年度公益社団法人岩手県看護協会改選役員及び推薦委員並びに 令和5年度公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の公募について

令和4年6月18日(土)に開催される令和4年度岩手県看護協会通常総会において、改選役員・推薦委員並びに日本看護協会の代議員・予備代議員の選挙を実施しますので立候補並びに立候補の届出方法などについてお知らせいたします。

### 1. 公募する役員・推薦委員などは以下の通りです。

定款第27条第1項により理事の任期は1期2年と規定されています。今回の改選理事は次のとおりであり、総会で選任後に理事会において選定されます。

#### (1)理事12名(任期2年)

- ①会長候補者……………1名
- ②副会長候補者……………1名
- ③理事候補者……………3名
- ④地区理事候補者(花巻、釜石)……………2名
- ⑤保健師職能理事候補者……………1名
- ⑥助産師職能理事候補者……………1名
- ⑦看護師職能理事Ⅰ候補者……………1名
- ⑧看護師職能理事Ⅱ候補者……………1名
- ⑨准看護師理事候補者……………1名

#### (2)推薦委員10名(任期1年)

#### (3)日本看護協会

- ①代議員……………8名(任期1年)
- ②予備代議員……………8名(任期1年)

### 2. 立候補または推薦基準

- (1)本会の目的達成のための活動に積極的に取り組み任務を遂行できる者
- (2)本会が定めた会議に出席できる者
- (3)立候補は正会員5名以上の推薦を必要とする

### 3. 届出方法

当協会のホームページより届出用紙をダウンロードし、下記あてに郵送してください。

〒020-0117 盛岡市緑が丘二丁目4番55号

公益社団法人 岩手県看護協会

立候補の場合：選挙管理委員会あて

推薦の場合：推薦委員会あて

### 4. 届出締め切日

令和4年3月18日(金) 必着

※推薦いただいた方々につきましては推薦委員会で協議の上、候補者として確定させていただきます。

※役員辞任に伴い改選役員の追加公示がある場合はホームページでお知らせします。

# いわての ナースセンター 75号 だより

岩手県ナースセンターはあなたを応援!!

保健師

助産師



看護師

准看護師

## 令和3年度岩手県ナースセンター 登録・相談・就業状況報告

### 登録状況

2021.12.1現在

区分	求職者数	求人数	求人件数
保健師	27	6	3
助産師	4	3	2
看護師	282	323	214
准看護師	31	11	9
計	344	343	228

### 相談状況

2021.4.1~12.1 (単位:件)

区分	求職相談	求人相談
保健師	227	124
助産師	48	22
看護師	3,242	1,839
准看護師	390	81
学生他	13	0
計	3,920	2,066

### 就業状況

2021.4.1~12.1 (単位:人)

区分	病院			診療所			その他				合計
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	その他	計	
保健師	0	0	0	0	0	0	0	13	0	13	13
助産師	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
看護師	7	2	9	4	2	6	4	36	331	371	386
准看護師	2	0	2	1	0	1	0	3	32	35	38
計	9	2	11	5	2	7	4	53	363	420	438

\*岩手県ナースセンターの紹介による就業者数(新型コロナウイルス接種業務紹介含)

## 県内10カ所のハローワークと連携した「看護のおしごと相談」 相談無料\*予約不要

- \*看護職の仕事をさがしている方の就業相談
- \*看護職の労働環境に悩みがある方の相談
- \*仕事と子育てや介護との両立、復職や再就業に不安がある方の相談
- \*看護職をめざす方の進路相談や看護職をめざすことについての相談
- \*看護職を募集している病院、施設等の求人相談



### ハローワーク二戸

毎月第2・4木曜日

### ハローワーク盛岡

毎月第2・4木曜日

### (ハローワーク北上) ジョブカフェさくら

毎月第1・3木曜日

### ハローワーク水沢

毎月第2・4水曜日

### ハローワーク一関

毎月第2・4水曜日

### ハローワーク久慈

毎月第1・3木曜日

### ハローワーク宮古

毎月第2・4木曜日

### ハローワーク花巻

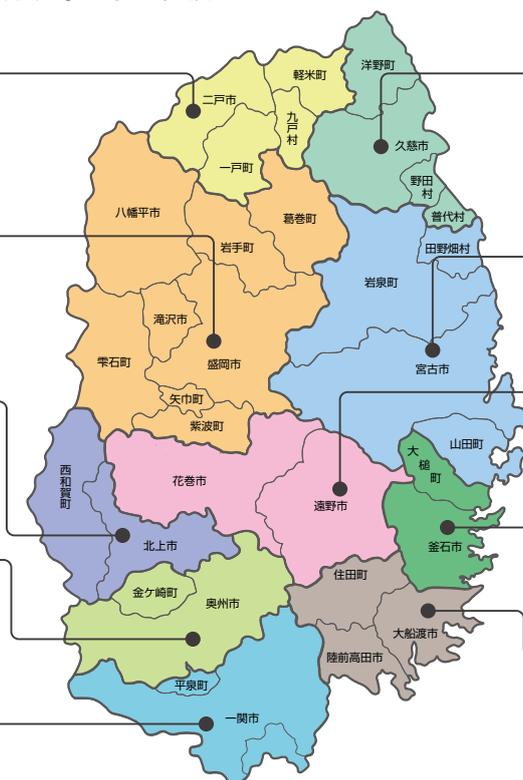
毎月第1・3木曜日

### ハローワーク釜石

毎月第1・3木曜日

### ハローワーク大船渡

毎月第1・3木曜日



## 看護の出前授業 ▶ いのちの大切さについて ～大切な生と性～

2021年10月28日岩手県立宮古商工高等学校 商業校舎で看護の出前授業が行われました。岩手県立釜石病院の助産師 木村裕美さんと佐々木美恵さんから「いのちの大切さについて」お話しいただきました。

### 木村 裕美さん

事前に何度も打ち合わせをし、学校側から「人生にはいろんな選択があり、幸せの形も人それぞれであること、それぞれの人生が尊重されるべきであることを伝えて欲しい」という希望に沿って授業を行った。授業後「生徒一人ひとりが自分の将来を考えるきっかけとなる授業でした」と講評いただいた。

### 佐々木 美恵さん

これまで小学生への「いのちの授業」を行っていたが、初めて高校生対象の授業に参加した。思春期真っ只中の高校生の反応はどうか、楽しみだった。講義中の反応は薄く、内容を理解してくれているのか不安だったが、「いのちの大切さ」は自分のみではなく他者、新生児や胎児も同等の「いのち」であることを理解した内容の感想に安心し嬉しかった。「自他の命を大切にすること」を「看護の出前授業」を通して伝え続けていきたい。



### 生徒の感想

- ❖ 「生きてだけで100点満点」この言葉が心に残った。
- ❖ 相手と良好な関係を築くためお互いを尊重して大切にすること、自分らしさも大切にすること、素直に気持ちを伝えることが大切だと思った。
- ❖ 生と性、いろいろな「せい」があり、人は成り立っているのだと実感した。
- ❖ 自分たちの行動に責任を持つことが大切だと改めて感じた。  
生んで育ててくれた親に感謝しながら、一生懸命生きていきたい。



## もう一度ナースに！ふたたび輝いて働く日のために

**\*看護師等免許保持者の届出制度「とどけるん」への届けを忘れていませんか？  
離職時には、届出をお願いします\***

2015年10月より、  
看護師等の届出制度が  
始まりました

「とどけるん」への  
登録はこちらから➡



看護師等の届出サイト

とどけるん

### 離職時届出の登録項目

- ① 氏名、生年月日、住所
- ② 電話番号、メールアドレス
- ③ 看護師等の籍の登録番号、年月日
- ④ 就業状況（未就業や求職中など）

◎お届けいただいた方には、ナースセンターへ求職登録のご案内を行い、研修・イベントや求人情報など提供し円滑な復職を支援いたします。

◎届出方法は「とどけるん」へご自身で入力とナースセンターでの代行登録があります。

病院等管理者のみなさまへ

各職員へ離職時届出票の配布をお願いいたします。

## WLB推進事業について▶ワークショップに3年間参加して、その後の活動

川久保病院

総看護師長 小松 紅実

平成29年よりWLB推進ワークショップに参加し、誰もが働き続けられる職場づくりを目指し取り組みました。プロジェクトメンバーを中心に、インデックス調査から見えた課題に取り組み、学習会の開催やニュースを発行し様々な制度の周知を高めたり、リリーフ体制のルールを作りお互いに協力しながら業務できるよう取り組みました。

ワークショップ参加後も看護師長会議の中で継続して協議しており、業務効率をあげるために夜間勤務のスタッフのユニフォームをスクラブに変更、他部署の協力も得ながら検査等への搬送をタスクシフトするなど、看護部だけでなく病院全体で取り組みを継続しています。

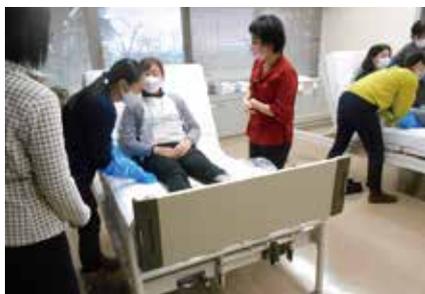


夜間はスクラブへ変更

## 令和3年度岩手県委託看護職員復職研修 ～復職への一步を踏み出してみませんか?～

看護職の資格を有し、未就業の者、研修終了後に県内の医療機関において就業を希望する者を対象に令和3年11月16日から12月22日まで「集合研修5日間」「技術演習及び臨床実務研修3日間」を行いました。参加者は、6名でした。参加者の感想をお伝えいたします。

- \* 受講することで、看護界の現状もわかり、一步踏み出す機会となった。
- \* 覚えていた知識・技術と研修で学んだことを照らし合わせる良い機会となった。
- \* 研修を受講することで振り返りになった。忘れていたことを思い出すことができた。



## セカンドキャリアセミナー ～生涯現役!楽しみながら働き続ける～

2021年11月9日(火)盛岡会場、11月30日(火)宮古会場でセミナーを開催しました。参加者は2カ所で合計23名でした。参加の方々の感想をお伝えいたします。

盛岡会場

- 同年代でいろいろな悩みを聞くことができ活力になった。
- 働き方にいろいろな方向性があることを再認識した。
- 病院以外の看護師の活躍の場を聞くことができ、今後の自分の働き方について参考になった。

宮古会場

- 看護師に定年はない。働き方によっては年齢は関係ないということを知ることができた。看護師の資格はすばらしい。
- 地域の施設の情報を知ることができ、今後の就業支援に活かしていきたい。
- 講師の仕事に対する思いや、やりがい感が伝わった。



## INFORMATION

## 看護協会入会のご案内

## 令和4年度入会受付中！

※会員有効期間は、

令和4年4月1日～令和5年3月31日までの1年間です。

看護協会は看護職の専門職能団体として、看護の質の向上と働き続けられる環境づくりに取り組んでいます。岩手県に在住または勤務する保健師・助産師・看護師・准看護師の有資格者はどなたでも入会することができます。

## 継続・再加入

- 日本看護協会年会費 ..... 5,000円
- 岩手県看護協会年会費 ..... 10,000円

合計 ..... **15,000円**

## 新規加入

- 日本看護協会年会費 ..... 5,000円
- 岩手県看護協会年会費 ..... 10,000円
- 岩手県看護協会入会金 ..... 20,000円

合計 ..... **35,000円**

未加入の方への入会のお誘いをいたします

お問い合わせは

公益社団法人岩手県看護協会

事務局 ☎ 019-662-8213 まで



## 会員のみなさまへ

令和4年度看護協会費  
早期納入のおねがい

令和4年度会費の入金がお済みでない方は、できるだけ**令和4年3月1日までに**お支払いいただきますようご協力をお願いいたします。

口座振替の方	口座引落しは年1回のみです。通帳残高不足により引落しできなかった場合は、自宅へ送付されるコンビニ払込票でお支払いください。
コンビニ収納・銀行振込の方	払込票を紛失した場合は、当会までご連絡ください。
勤務先でとりまとめて納入の方	勤務先の会費とりまとめ案内によりお支払いください。

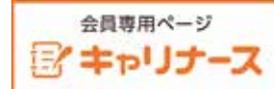
※「勤務先でとりまとめて納入」を選択している施設の担当者さまへ

振込までの手順

- ①会費をとりまとめる
- ②施設用WEBで「会費納入対象者の特定作業」を行う  
※施設用WEBを利用しない場合は、「会費納入対象者一覧」を当会へFAX
- ③金融機関で施設専用口座に振込み  
※「施設用WEBで登録した会費総合計金額」または「会費納入対象者一覧に記載した振込金額」を振込む。施設専用口座は昨年と同様の口座番号です。施設用WEBでご確認ください。
- ④翌々日、施設用WEBで「入金済」会員を確認

## 会員情報の変更手続きのご案内

勤務先など登録内容を変更する場合は、「キャリアース」をご利用ください。



※会員情報変更届で変更する場合は、データが反映されるまでに1か月ほど要しますので早めに手続きを行っていただきますようお願いいたします。

日本看護協会 会員向け  
「福利厚生サービス」開始のご案内

2021年10月1日より日本看護協会は、SONPOグループとともに看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりの一環として会員の皆様へ「福利厚生サービス」の提供を開始しました。

- ①年金理解・資産形成支援サービス
- ②「長期収入サポート制度」(団体長期生涯所得保障保険)
- ③「親子のちから」(親介護費用保障特約セット団体総合保険)

岩手県看護協会の  
ホームページをご存知ですか？

ホットな情報を掲載しております。どうぞ開けてみてください。

<http://www.iwate-kango.or.jp>

## 編集後記

新年はじめての「いわての看護」発行となりました。新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せてきましたが、新型株の動向にも注意しながら過ごしていることと思います。今年こそは、活動が増えるように日々願い頑張っていきたいと思います。

